

## 「北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の整備に関する関係者会議」について

鉄道・運輸機構が国土交通大臣に報告した「北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）工事の状況」に関し、今回の判断に至った理由や考え方、国の対応などについて、地元関係者が一堂に会し説明を受けるとともに意見交換を行うため開催。

### 1 会議の概要

- (1) 日 時 令和6年5月29日（水）10:30～11:40
- (2) 場 所 ニューオータニイン札幌 2階「鶴の間」
- (3) 出席者 別紙のとおり
- (4) 議 事
  - ①北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）工事の状況について  
鉄道・運輸機構、国土交通省鉄道局から説明
  - ②意見交換

### 2 開催結果

#### (1) 工事の状況等について

<b>鉄道・運輸機構</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○一部のトンネル工区において、地質不良などにより3～4年程度の遅れが生じており、現在、なお地質不良が続いているほか、働き方改革の実施など更なる遅れの要因がある。</li> <li>○今後、様々な工程短縮策を講じても、その短縮効果は更なる遅れの影響を一定程度減殺するに留まる状況を踏まえ、建設主体として2030年度末開業は極めて困難と判断。</li> <li>○働き方改革の実施を控え、影響軽減策、工程工夫策などを期限ギリギリの昨年度末まで受注者と協議を進め、その結果を踏まえこのタイミングで報告・公表に至った。</li> <li>○多くのトンネルでは比較的順調に掘削が進んでいるが、札幌トンネル、羊蹄トンネル、渡島トンネルの3箇所の掘削が難航しており、この3つが全体工程のボトルネック。</li> <li>○国交省における検討に真摯に対応し、指導もいただきながら工程の短縮に取り組み、一日も早い開業に向けて最大限努力してまいる。</li> </ul>
<b>国土交通省鉄道局</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○5月8日の鉄道・運輸機構から国土交通大臣への報告に伴う大臣からの指示を受け、今日10日に有識者会議を開催し、議論を開始。</li> <li>○トンネル工事の実務に詳しいメンバーによる「地質不良対策等検討ワーキングチーム」を立ち上げ、その旨有識者会議に報告。</li> <li>○有識者の知見などをいただきながら精査を行い、鉄道・運輸機構とともに一日も早い完成・開業を目指してまいる。</li> </ul>

#### (2) 意見交換

<b>沿線自治体、経済界等地元関係者</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○開業の遅れは、各沿線地域のまちづくりや駅前再開発の事業計画、また民間投資の停滞や観光効果などの地元経済に対する影響が非常に大きい。</li> <li>○難しい工事であることは理解するが、今後の見通しが示されないまま、遅れということだけが外に出ており、地元として非常に困惑。</li> <li>○新函館北斗駅前の企業誘致に関し、機構の報告後、計画を見直す必要に迫られるなど、大変多くの危惧する事項がある。</li> <li>○ハード整備や二次交通などのソフト対策について、開業から逆算して取り組む必要があり、スタートラインが不明では、整備スケジュールを立てることが非常に困難。           <ul style="list-style-type: none"> <li>○各地域のまちづくり、札幌駅前再開発事業等への影響、開業を見据えた沿線への企業進出、また商業、観光関連施設等の民間投資の停滞というものも非常に懸念。</li> </ul> </li> <li>○まちづくりなど各種事業計画のスケジュール調整や民間投資など経済界へ影響を最小化するため、新たな開業目標に関する今後の見通しについて、早期に示していただきたい。</li> <li>○有識者会議の知見や最新の技術を最大限活用するなど、様々な角度・観点から報告内容の検証や工程短縮策の検討を行い、一日も早い完成・開業に向けた取組をお願いする。</li> </ul>

鉄道・運輸機構
○一日も早い開業、開業の見通しを早く示すことの2点が何よりも求められていることと思っており、技術的な課題もあるが、この責任を果たせるように国交省における検討にしっかり対応し、一日も早い開業と開業見通しを進めてまいる。
国土交通省鉄道局
○開業目標に関する今後の見通しについては、現時点ではいつ頃お示しできるかはお答えすることは困難な状況ですが、今日いただいたご意見を踏まえ、できるだけ早期にお示しできるよう努めてまいる。
道（知事）
○国、鉄道・運輸機構、地元関係者が、認識をしっかりと共有して一丸となって進めていくことが大切。 ○工事の進捗状況、今後の見通し等について情報や課題を共有して可視化を行い、事業の円滑な推進を図ることができるように、新たな枠組を作る必要がある。
鉄道・運輸機構、国土交通省鉄道局
○新たな枠組について同意。

### 3 緊急要望

会議終了後に、知事（北海道新幹線建設促進期成会）から、鉄道・運輸機構、国へ要望。

- ・工事の進捗や有識者会議での議論の状況など、情報共有の充実・強化に取り組むこと
- ・新たな開業時期を含めた今後の見通しについて、できる限り早く示すこと
- ・一日も早い完成・開業を目指すこと

### 4 今後の対応

今後の整備促進に向けて、関係者が工事の進捗状況や今後の見通しなどについて、情報や課題の共有、可視化を行うことができる新たな枠組について、国、鉄道・運輸機構、関係者と協議を進める。

団体・企業名	役職	氏名
国土交通省 鉄道局	次長	平嶋 隆司
独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構	理事長	藤田 耕三
北海道	知事	鈴木 直道
北海道議会	議長	富原 亮
新幹線・総合交通体系対策特別委員会	委員長	花崎 勝
一般社団法人北海道商工会議所連合会	会頭	岩田 圭剛
北海道経済同友会	代表幹事	安田 光春
札幌市	市長	秋元 克広
北斗市	市長	池田 達雄
函館市	市長	大泉 潤
八雲町	町長	岩村 克詔
小樽市	副市長	上石 明
倶知安町	副町長	菅原 雅仁
長万部町	課長	岸上 尚生
一般社団法人北海道建設業協会	常務理事	日野 勉
公益社団法人北海道観光振興機構	事業企画本部副本部長	田島 章人
新幹線現札幌駅乗入促進期成会	会長	高井 修
北海道旅客鉄道株式会社	代表取締役社長	綿貫 泰之
北海道市議会議長会	幹事	安澤 哲
北海道経済連合会	部長	中村 博之
北海道商工会連合会	専務理事	鳴海 拓史
北海道町村会	主幹	綿谷 直治
旭川市	課長補佐	秋保 秀二郎
七飯町	課長	笠原 泰之
小樽商工会議所	事務局長	山崎 久
倶知安商工会議所	事務局長	柳沢 利宏
旭川商工会議所	課長補佐	近澤 尚明
北海道電力株式会社	取締役常務執行役員	鍋島 芳弘
株式会社北洋銀行	特任審議役	佐々木 徹
一般社団法人日本建設業連合会	事務局次長	福田 規仁
札幌駅総合開発株式会社	代表取締役社長	平川 敏彦